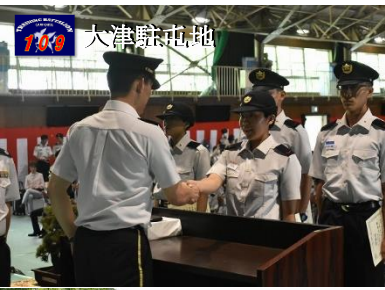


第20期一般曹候補生・自衛官候補生課程 修了式



「同期との絆を胸に

はばたけ全国へ」



第56号
令和5年9月21日

団長統率方針
一致団結
団長要望事項
心身を鍛え、
技能を磨け

駐屯地司令
要望事項
頼もき
自衛隊員にして、
良き市民たれ



web site

中部方面混成団（中部方面混成団長兼ねて大津駐屯地司令 野崎 英二 1等陸佐）は、令和5年6月25日の松山駐屯地を皮切りに、6月28日に豊川駐屯地、6月29日に大津駐屯地において、第20期一般陸曹候補生約780名及び令和5年度自衛官候補生約30名に対する修了式を隊員家族及び部内外来賓を迎え各駐屯地で挙行しました。

参列した混成団長は、「諸官らは、寒い朝、うだるような暑い日中も戦闘訓練や射撃検定、体力検定そして25km行進等、時には泥水に浸かりながらも訓練に励んで来ました。本教育課程を全て終了し、いかなる状況においても任務を完遂するため自衛官としての基礎を身に付けたものと認めます。『事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努め、もって国民の負託に応える。』この宣誓の重さは私も常に心に刻んでいます。我が国の平和と独立を守る自衛隊の使命を全うするため、ともに努力して行こう。」と激励した。

本課程を修了した新隊員たちは、各職種に分かれそれぞれの駐屯地で行われる新隊員特技課程により専門的な知識・技能を学びます。

第49普通科連隊長・各教育大隊長式辞

第110教育大隊長

諸官らは、これからそれぞれの地で、それぞれの職種の技能を学び、職種部隊に配置されます。そこではこれまで以上に厳しい訓練が待っているかも知れません。人間関係で悩むこともあるかもしれませんが、そんなときは、今ここに区隊長、区隊付、班長を頼って下さい。悩みを相談することは生きていく上でとても大切なことです。諸官の成長を願ってやまない区隊長、班長たちはきっと良いアドバイスをくれるはずです。

第109教育大隊長

この春に着隊して以来、中隊長をはじめ、区隊長、先任助教、班長の情熱と愛情あふれる指導のもと、全員が力を合わせ、3か月にわたる厳しい教育訓練を乗り越えて、各職種共通の知識や技術の基礎的事項を修得するとともに、団体生活を通じた自律心や公德心を涵養してくれました。大津で培った自衛官としての基礎を基に自らに磨きをかけ、国民の負託に応えるべく、大いに部隊で活躍してくれることと、実際に任務に従事する際には、いかなる困難な状況であろうとも、使命感を賢持し与えられた任務を遂行してくれることを期待しています。

第49普通科連隊長

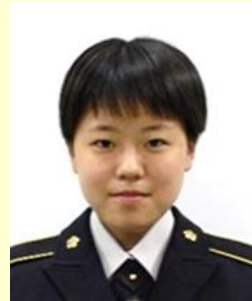
君たちは、この3か月の教育で、自衛官として必要となる、基礎的な知識・技能、体力・精神力を身に付けるとともに、営内における団体生活・団体行動を通じ、他人への思いやりや規律心など、部隊の本質を十分に理解し、その基盤を確立したことと思う。諸官は、本教育修了をもって各々の部隊に配属され、後期教育を経て、いよいよ職責を伴う自衛官として各人の役割に配置される。これから先、様々な困難に直面するであろうが、本教育で学んだことを糧に、己を信じ不屈の精神をもって乗り越えてもらいたい。諸官は国家・国民の宝であるとともに、我が第四十九普通科連隊の誇りです。

第20期一般曹候補生、自衛官候補生 ～修了所感～



大津駐屯地
第109教育大隊第314中隊
2等陸士 大井 遥奈

私たちは区隊が一つしかなく、24人で日々訓練に励んでいました。人数が少ないので助け合いや協力することの重要性を感じました。辛くて苦しい時、嬉しい時、楽しい時に大切な仲間と過ごせた事が最高の思い出です。区隊長からの要望事項であった「己に勝てる様に従い、昨日の自分より勝てる様、努力し続けます。」



大津駐屯地
第109教育大隊第315中隊
2等陸士 西岡 采音

入隊した頃は、家族と離れて暮らすことが寂しかったです。しかし、同期と共に努力する日々は、楽しさもあり、良い思い出になりました。国防を任務とする自衛官は、国民の信頼を失うことがあってはなりません。そのためにも、仲間のことを信頼し、思いやる大切だと学びました。今後も前に向かって努力を続けたいと思います。



豊川駐屯地
第109教育大隊第316中隊
2等陸士 山下 蔵之助

着隊から毎日一緒に居てくれた同期には感謝の気持ちでいっぱいです。教育訓練は苦しいこと、楽しいことと色々ありました。班員が励ましてくれたのでどんな事も乗り越えることができました。また、初めのうちは不安でいっぱいでしたが戦闘訓練、総合野営の25km行軍を終えて達成感を味わうことができました。後期では環境が変わりますが、気持ちを新たに頑張ります。



松山駐屯地
第110教育大隊第333中隊
2等陸士 柳井 大空

ラップで起床、戦闘訓練や武器訓練等、今まで経験したことのないことばかりで慣れるまで本当に大変でした。辛い時もありましたが、同期のみなさんと励ましあつて乗り越えた時は、仲間の大切さを改めて感じました。この先、大きな壁にあたることもあると思いますが、仲間と協力し、同期を大切にしてきたいと思っています。



大津駐屯地
第109教育大隊 第314中隊
支援教官 2等陸尉 大庭 尚也
所属：中部方面移動監視隊

「感謝」

第20期一般陸曹候補生課程「前期」に第3区隊長として参加させていただき、誠にありがとうございました。平成29年7月から9月の間で新隊員課程「後期」の班長として参加して以来の教育隊勤務でしたが、学生を直接指導するのではなく、区隊内において自分の教育方針を示して、要員に徹底させるのは難しかったです。自分の意志を要員を通して学生に伝えるためにはどうすれば良いか、自分はどうすれば良いか、自分は大変悩んだ3か月でした。学生は24名でしたが、大勢の命を預かり、自分の意志を明らかにして目標を達成させるのは一人の力ではどうにもならない、要員と学生の力が合わさらないと実現できないことを実感した3か月でした。共に教育した本属及び支援の方々に感謝します。

「教育を終えて 教官・助教の想い」



豊川駐屯地
第109教育大隊 第316中隊
支援助教 3等陸曹 高野 隆太
所属：第10特科連隊 本部管理中隊

「一致団結」

教育準備から学生が修了式を迎えるまでの3か月は、とても短く感じました。新隊員の成長していく過程において隊員同士の意見を話し合い、区隊で団結している姿が印象的で、私自身初心に返ることができ、共に成長することが出来ました。学生に対し教育するにあたって教育隊長 本田2佐をはじめとする第109教育大隊の本属要員の方々に支えられ自信を持って教育することが出来ました。自分の分身の様な「元氣」だけが取り柄の班員が全国へ羽ばたきますが、異動先で活躍している姿と、いつか再会できるのを楽しみにしています。



大津駐屯地
第109教育大隊 第315中隊
支援教官 3等陸尉 田村 寛太
所属：第14後方支援隊 補給中隊

「One team」

私は、約3か月間、第315共通教育中隊第2教育隊で区隊長として勤務をいたしました。当初、幹部区隊長として立派な新隊員を育成しないといけないプレッシャーで寝れない日々でしたが、活模範で全力で新隊員と向き合いました。無事前期教育を修了することができ、新隊員と共に成長する事が出来たと感じました。要員集合訓練から合わせると約4か月間、第109教育大隊長はじめ関係者の皆様には感謝してもしきれないぐらい感謝していただいております。本当にありがとうございます。



松山駐屯地
第110教育大隊 第333中隊
支援教官 1等陸曹 松尾 紀文
所属：第13施設隊

第20期一般陸曹候補生課程区隊長として参加し、若い隊員たちの心の中を教育が出来るかどうか不安でしたが、私も自衛隊生活で学んだ同期の絆を大事に「One team」を要望事項として上げました。教育を終えて私自身も成長することができ、部隊に帰ってからも本教育で学んだことを活かして行きたいと思っています。

自衛官候補生課程～3か月の訓練～



基本教練



武器訓練



戦闘訓練



徒步行進

第21期一般曹候補生・ 第2次自衛官候補生課程入隊式

第109教育大隊及び第110教育大隊は、第21期一般陸曹候補生及び令和5年度第2次自衛官候補生の入隊式をそれぞれの駐屯地で挙行了しました。
残暑が残る中、真新しい制服に身を包んだ初々しい新入隊員たちは、希望と不安を胸に自衛官としての第一歩を踏みだしました。
今後、新隊員たちは約3か月に亘り、自衛官としての必要な知識・技能を身に付けるため、それぞれの駐屯地において基礎的な教育訓練に臨みます。



第4陸曹教育隊 陸曹候補生課程 総合訓練



掩護射撃

第4陸曹教育隊は、信太山演習場において3日間にわたり、第143期2次陸曹候補生課程普通科教育中隊及び共通教育中隊の総合訓練を実施しました。



命令下達



40km行進

第4陸曹教育隊 陸曹中級課程 総合訓練



命令下達・戦闘指導

第4陸曹教育隊は、信太山演習場において3日間にわたり、第14期陸曹中級課程総合訓練を実施しました。
本訓練は、25km行進に引き続き、小銃小隊長としての状況判断、実員指揮能力を醸成させることを目的として行われました。



敵車両を警戒する84mm無反動砲手



ロープ体験



偵察ボート体験



ベットメイキング



火起こし体験



隊員との懇談

混成団募集広報の日

～サマーキャンプin大津～

大津駐屯地は、令和5年7月25日(火)から26日(水)までの間、中部方面募集広報の日として、第49普通科連隊から支援を受け、近畿2府4県に所在する各地方協力本部が募集した32名の募集対象者を受け入れ、「混成団募集広報の日(サマーキャンプin大津)」を開催しました。
本行事は、自衛隊を体験し楽しんでもらえるサマーキャンプを実施し、自衛隊に対する親近感を醸成して、募集広報に寄与することを目的としており、中部方面隊の募集施策である「募集広報の日」の一環として行われます。
募集対象者たちは、自衛隊の部隊行動に必要な基本教練や、偵察用ボートの操舵訓練体験、火起こし、ロープ体験など実施しました。
1泊2日の体験型イベントにより自衛隊駐屯地での生活を体感し、現役自衛官との交流や懇談を通じて、自衛隊志願に対する確度の向上に大きく貢献することが出来ました。

第47普通科通科連隊連隊野営訓練



第47普通科連隊(連隊長 松本1佐)は、令和5年7月中旬から日本原演習場において「令和5年度連隊野営」を実施した。

本野営では、即応予備自衛官を含む約330名の隊員が参加し、手りゅう弾投てき、81mm迫撃砲、01式軽対戦車誘導弾、個人携帯対戦車弾など多種多様な実弾射撃等を実施し、部隊の射撃能力等の向上を図った。

また、本演習では雇用企業主研修を実施し、4つの県から、6社8名及び即応予備自衛官志願者1名が本訓練を研修して、自社の社員等の活躍を目的としたこと、訓練への参加に対する理解を深め、自衛隊及び即応予備自衛官制度の更なる理解の促進を図ることができた。

連隊は、本演習での成果に慢心することなく、日々の訓練を通じ更なる部隊の精強화에邁進していきます。



手りゅう弾投てき



81mm迫撃砲射撃



01式軽対戦車誘導弾射撃



個人携帯対戦車弾射撃

第49普通科通科連隊連隊野営訓練



連隊は、令和5年7月中旬、青野ヶ原演習場(兵庫県加西市)において令和5年度第2次連隊野営を実施しました。

本野営は、真夏の猛暑の中で第6施設群と第306普通科直接支援中隊の支援を受け人員約500名(即応予備自衛官約300名を含む。)で連隊統制の防衛訓練を実施して、防衛練度の向上を図った。また、併せて第1次情報訓練及び第2次狙撃手集合訓練を実施して、情報所運営及び防衛における狙撃手の練度の向上を図りました。



防衛戦闘 (87式対戦車誘導弾)



戦闘前哨 (前方監視中の隊員)



敵情の監視



陣地構築



地雷埋設



鉄条網の設置

大津駐屯地隊員家族・募集の日



「びわ湖大花火大会」
大津駐屯地は、令和5年8月8日に4年ぶりに開催されたびわ湖大花火大会に併せて「駐屯地隊員の融和団結及び隊員と家族の交流を図ること」。「日頃より駐屯地各部隊に協力いただいたりしている協力団体との親睦を深めること」を目的として、隊員家族と協力団体会員を招待しました。
花火打ち上げに先立って、駐屯地司令は各部隊の観覧場所を訪問し、ねぎらいと感謝の言葉を伝え、各会場は笑顔あふれる和やかな雰囲気となった。
隊員は、家族との交流を深めつつびわ湖に上がる約1万発の彩り鮮やかな花火を観覧しました。

